

授業科目	災害看護学				担当	○中信 利恵子・百田 武司	
					研究室	研究室2・研究室4	
開講年次	4 編4	セメスター	8 8(編)	時間数 (単位数)	30 (2)	必修/選択	
	編4(助)		8(編)			必修	
開講最低(上限) 人数							
授業の目的及びねらい							
国内外の災害の事例を踏まえ、災害の概念や災害時の健康障害、災害時に必要な看護を提供するための負傷者への応急的な対応システム及び被災者への継続的な支援活動を維持するためのシステムなどについて学びます。また、災害看護の実践に関して、赤十字の人道の理念に基づいた看護師の役割と援助方法を学習します。							
講義回数	主な授業内容						担当者
第1回	コース・オリエンテーション 災害看護学概論 災害の定義と災害の分類、災害のサイクル、災害、防災に関する諸制度						中信
第2回	赤十字救護活動 赤十字の災害救護活動、国際救援活動の実際(特別講義)						百田・中信
第3回	災害各期における被災者の特徴と看護活動 急性期の看護						百田
第4回	災害各期における被災者の特徴と看護活動 急性期の看護						百田
第5回	災害各期における被災者の特徴と看護活動 亜急性期の看護						百田
第6回	災害各期における被災者の特徴と看護活動 慢性期、復旧・復興期の看護						中信
第7回	災害各期における被災者の特徴と看護活動 災害時におけるこころのケア(被災者、ケア提供者)						中信
第8回	災害看護活動の実際 災害救護訓練への参加・避難所疑似体験演習・国際医療活動疑似体験ツアー参加(学外演習)						中信・百田
第9回	災害看護活動の実際 災害救護訓練への参加・避難所疑似体験演習・国際医療活動疑似体験ツアー参加(学外演習)						中信・百田
第10回	災害看護活動の実際 トリアージ訓練						百田・中信
第11回	災害看護活動の実際 災害時の看護活動の実際(特別講義)						中信・百田
第12回	災害への備えと災害看護研究						中信
第13回	ヒロシマ原爆被爆時の看護活動						中信
第14回	<国際救援コース以外の学生> 課題学習 災害時救援優先者の特徴と看護について			<国際救援コースの学生> S Pにシミュレーションでトリアージを実施 (OSCE)			百田・中信
第15回	課題学習 災害時救援優先者の特徴と看護について			S Pにシミュレーションでトリアージを実施 (OSCE)			百田・中信
必須文献、参考文献等							
必須文献:小原真理子, 酒井明子監修(2007). 災害看護. 東京, 南山堂. 参考文献: 講義時に提示します							
評価の方法							
1) 定期試験受験資格: 授業の2/3以上の出席を必要とします。 2) 評価方法: 個人レポートを30%, 筆記試験を70%として評価します。 国際救援コースの学生は、トリアージ訓練でOSCEを行います。 OSCEの評価は次の視点です。 ①トリアージの区分が行える、②傷病者に対してヒューマンケアリングに基づいた態度で関わる事ができる							
受講生へのメッセージ							
災害は、いつ、どこで、どのような形で起こるかわかりません。近年は自然災害だけではなく、人類が作り出す紛争やテロリズム、大規模な交通事故なども増加しています。それだけに、災害時の看護が看護職に求められています。今後、より多様になるであろう看護の役割について、共に探求していきましょう。 第14回, 第15回は国際救援コースの学生と国際救援コース以外の学生では異なる授業内容となります。							